

④ 日本国特許庁 (J P)

⑤ 実用新案出願公告

⑥ 実用新案公報 (Y 2)

昭 63 - 20232

⑦ Int. Cl.

H 04 R 1/10
A 41 D 21/00

⑧ 発明の名称

103

⑨ 発明の分野

7314-5D
7149-3B

⑩ 発明の要旨

昭和63年(1983)6月6日

(全3頁)

⑪ 考案の名称 防寒用耳あて・ヘッドホーン等のヘッドバンド

⑫ 発明者 昭57-78393

⑬ 公開 昭58-187594

⑭ 出願 昭57(1982)5月29日

⑮ 昭58(1983)12月5日

⑯ 考案者 西沢 正治 東京都台東区浅草橋4丁目6番8号

⑰ 出願人 西沢 正治 東京都台東区浅草橋4丁目6番8号

⑱ 代理人 弁護士 佐々木 功

⑲ 審査官 大野 寛美

① 実用新案登録請求の範囲

一方端に筒状部が形成された二枚の弧状ばね体をそれぞれの筒状部に互いの弧状ばね体を遊挿して配設すると共に、該弧状ばね体の他方端に耳あて本体あるいはレシーバーに取付けられる導音機構を一端に有する連結片の他端を回動自在に枢支したことを特徴とする防寒用耳あて・ヘッドホーン等のヘッドバンド。

考案の詳細な説明

本考案は、種防寒用耳あて・ヘッドホーン等の本体連結部に供するヘッドバンドの改良に関する。従来のこの種防寒用耳あて・ヘッドホーン等の本体連結部に供するヘッドバンドは二枚の弧状ばね体の一方端に筒状部を形成し、この筒状部に互いの弧状ばね体を遊挿させて相互の弧状ばね体の互なる断端を可変させて長さ調節を行うようにした。

しかし、前記ヘッドバンドは唯単にヘッドバンドの長さ調節を行うだけであったため収納、保管する際に煩瑣でしまい不便であった。

本考案は上記の点に鑑みなされたもので、収納、保管時に緊張することのないように長さ調節と折り畳みが行えるようにした防寒用耳あて・ヘッドホーン等のヘッドバンドを提供するものであつて、その要旨とするところは一方端に筒状部が形成された二枚の弧状ばね体をそれぞれの筒状部に互いの弧状ばね体を遊挿して配設すると共に、該弧状ばね体の他方端に防寒用耳あて本体あるいはレシーバーに取付けられる導音機構を一端に有

する連結片の他端を回動自在に枢支したことを特徴とする防寒用耳あて・ヘッドホーン等のヘッドバンドにある。

以下、本考案を図面を参照して詳細に説明する。

第1図は本考案の防寒用耳あて・ヘッドホーン等の本体連結部に供するヘッドバンドの一実施例を示す斜視図、第2図は防寒用耳あてに適用したヘッドバンドを折り畳んだ状態を示す斜視図、第3図は耳あて本体とヘッドバンドとの連結状態を示す断面図で、第1図乃至第3図において、1は防寒用耳あてあるいはヘッドホーン等の本体連結部に供するヘッドバンドにして、これは一方端に筒状部2が形成された二枚の弧状ばね体3のそれぞれに互いの筒状部2を遊挿し、かつそれぞれの弧状ばね体3の他方端に連結片4の一端を回動自在に枢支したもので、この連結片4の他端には左右の耳あて本体5あるいはヘッドホーン本体(図示せず)が導音機構6によつて係着され、防寒用耳あて7あるいはヘッドホーンが構成されることになる。

しかし、本考案のヘッドバンド1は二枚の弧状ばね体3のそれぞれの筒状部2に互いの弧状ばね体3を遊挿すると共に、他方端を連結片4を介して耳あて本体5に係着したものであるため、二枚の弧状ばね体3の直なり距離を可変させて長さ調節を行うことができると共に、防寒用耳あて7を収納、保管する場合には二枚の弧状ばね体3の他方端に対しそれぞれに連結片4をほぼ直角に回

3

4

動させて左右の耳あて本体5に対しそれぞれの弧状ばね体3を平行に配することにより、第2図に示すように矢張状に耳あて本体5が弧状ばね体3を挟んで対設することになり、耳あて7を非常にコンパクトに折り畳むことができるものである。

以上述べたとおり本考案のヘッドバンドは一端に両状部が形成された二枚の弧状ばね体のそれぞれを互いの両状部に連結すると共に、該弧状ばね体の他方端に回動自在に連結片の一端を固定し、この連結片の他端には耳あてあるいはヘッドホーン等の本体が特殊機構を介して螺着されているので、二枚の弧状ばね体の通なる距離を変更することによりヘッドバンドの長さ調節を行うことができ、かつ耳あてあるいはヘッドホーン等の本体に対して平行に弧状ばね体を配することにより

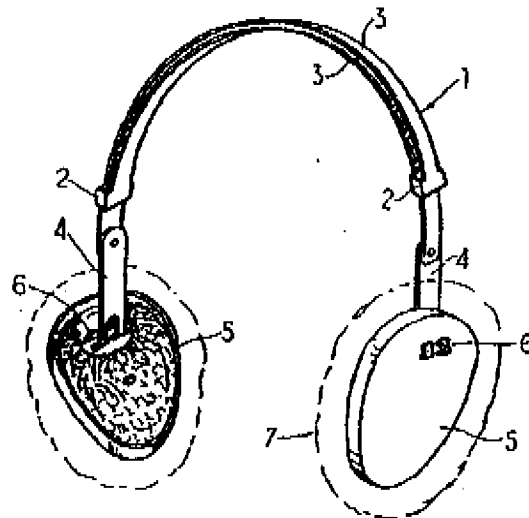
前述左右の本体を弧状ばね体を挟んで対設することができ、よつてこのヘッドバンドによつて連結された前記本体は非常にコンパクトに折り畳むことができ、収納、保管の際に邪魔することもないのである。

図面の簡単な説明

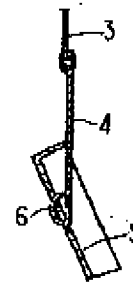
第1図は本考案の防塵用耳あて・ヘッドホーン等の本体連結用に供するヘッドバンドの一実施例を示す斜視図、第2図は防塵用耳あてに適用したヘッドバンドを折り畳んだ状態を示す斜視図、第3図は耳あて本体とヘッドバンドとの接続状態を示す断面図である。

1……ヘッドバンド、2……両状部、3……弧状ばね体、4……連結片。

第1図



第3図



(3)

実公 昭 63-20232

第2図

